

令和4年度 国語科 第1学年 年間指導計画

学期	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学期	4 月	言葉に出会うために 声を届ける		場面ごとに相手に届く声はどのような声なのかを考えている。	音読や発表をするときに相手に届くように声を出そうとしている。	
		1. 学びをひらく シンシユン	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	
	5 月	情報を的確に聞き取る	5W1H に注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。	
		情報を整理して書こう	集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	
	6 月	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		2. 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	
	7 月	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。	序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	
		漢字に親しもう2	小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	2 学期	9 月	3. 言葉に立ち止まる 比喩で広がる言葉の世界	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
			言葉1 指示する語句と接続する語句 書写 楷書を書こう	指示する語句と接続する語句の役割を理解している。	指示する語句、接続する語句を使って適切な文を書いている。	今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
10 月		4. 心の動き 大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに	戦時中という時代背景や、の中で暮らす人々の生活苦を理解している。	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	
		言葉2 方言と共通語	共通語と方言の役割や特徴について理解している。		進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	
11 月		漢字2 漢字の音訓	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。	点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。	今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	
		5. 筋道を立てて 言葉をもつ鳥、シジュウカラ 話題や展開を捉えて話し合おう	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
12 月		漢字に親しもう3	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	
		6. いにしへの心にふれる 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。	小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
3 学期		1 月	7. 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。	「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
			漢字に親しもう4	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
	2 月	8. 自分を見つめる 少年の日の思い出	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		漢字に親しもう5	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	
	3 月	書写 行書を書こう	漢字や仮名の行書の特徴・基礎的な書き方を理解している。	行書の特徴<丸み・点画の連続>を確かめている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		文法への扉3 単語の性質を見つけよう	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について理解を深めている。		日本の伝統文化に触れ、学習課題に沿って漢字や仮名の筆使いに注意して書こうとしている。	
	3 月	言葉3 さまざまな表現技法	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	
		漢字3 漢字の成り立ち	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。		積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	
		漢字に親しもう6	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		構成や描写を工夫して書こう	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		百人一首を味わう	和歌にこめられた作者のものの見方や考え方に興味をもち、理解を深めている。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	和歌に詠まれた情景を調べて、理解を深めようとしている。	
		評価方法	【定期考査】 【書写の技能】 【小テスト】 【長期休業中の宿題テスト】	【定期考査】 【小テスト】 【討論・話し合い】 【スピーチ】 【作文】 【長期休業中の宿題テスト】 【授業中の生徒観察】 【文章の読み取り】	【ノート・ワーク】 【授業中の生徒観察】 【討論・話し合い】 【ポートフォリオ】 【漢字練習帳】	